

実施報告

平成30年度 学校・図書館・ボランティアを結ぶ実践発表会

【日時・会場】

平成30年10月30日（火）13:00～16:30 参加者：44名
草津市立まちづくりセンター

実践報告

【内 容】

「語りで伝える おはなしにこめられたメッセージ」

報告：辻 まゆみ 氏

（彦根おはなしを語る会 代表）

【報 告】

辻先生からは、学校をはじめとする様々な場所で“語り”をされた経験の中から、子どもたちの聞く力について、子どもの読書に対する大人の関わり方についてなどをお話いただきました。「馬方とやまんば」の語りには、参加者の皆さんも引き込まれていました。



【参加者の感想から（抜粋）】

- ・優しい声で語られるお話が、ずっと体に入ってくるようでした。
- ・「素話」の良さを再確認できた。おはなし会の持つ力や有効性を考え直して、より魅力が伝わるようにしていきたいと思った。
- ・子どもたちは「聞く力」を必ず持っている、という言葉が心に響きました。

講演

【内 容】

「子どもの豊かな読書環境のために」

講師：土居 安子 氏

（大阪国際児童文学振興財団 総括専門員）

【講 演】

土居先生からは、子どもの読書の現状について、その中での学校図書館の役割についてなどをお話いただきました。読書とはどういったものか、デジタルメディアに親しむ子どもたちにとって本を手渡していくか、



子どもの読書に関わる大人たちの連携など、さまざまな観点から子どもの読書環境を豊かにするためのヒントをいただくことができました。また、2017年、2018年に出版された本を中心に、児童書をたくさんご紹介いただきました。

【受講者の感想から（抜粋）】

- 広い視野で、多彩な取組をされていることに敬意を表します。ネット時代と読書についていろいろ考えさせられました。
- 学校図書館が自立していないと連携できないというのはとても納得できました。
- 本の紹介もしていただき、選書などに役立て先生や生徒に結びつけていきたいです。

情報交換・意見交流

最後に、グループにわかれて情報交換・意見交流を行いました。参加者それぞれが学校図書館でどのような活動を行っているかや連携体制について、日頃感じていることについてなど活発な意見交換がなされました。「違った立場の方の意見を聞くことができ、参考になった」との声がありました。